

宮城労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました

～キリンビール株式会社仙台工場の取組について～

代田宮城労働局長は、長時間労働削減、年次有給休暇取得に積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」として、「過重労働解消キャンペーン」期間中の平成30年11月28日に、キリンビール株式会社仙台工場を訪問しましたので、同社における主な取組内容等をご紹介します。

企業名	キリンビール株式会社仙台工場				
所在地	仙台市宮城野区港	社員数	135名	業種	酒類製造業

局長訪問

仙台工場を訪問し、横山昌人工場長、曾山 剛総務広報担当部長から取組内容について、お話を伺いました。

その後、報道機関の取材を受けたのちに、工場において、製造工程を見学しました。



(取組内容についての説明)



(取組内容について意見交換)

取組内容

1 労働時間の適正把握

適正労働時間の管理の前提として、職員による勤務時間の日々の入力とリーダー（部長）の日々の承認を徹底することや、休憩時間は1時間取得し、実態に基づいて入力することとしている。

2 正確な勤務時間の入力促進

PCの開閉時間と勤務入力時間に乖離がないかをリーダー（部長）が確認することで、

3 勤務間インターバル制度の導入

平成30年2月から、全社員を対象に、勤務間インターバル制度を導入し、当日の終業時間から翌日の始業時間まで、一定のインターバル（11時間）を保障することで、職員の休息時間を確保している。

4 連続休暇の取得促進

5日間の連続有給休暇の取得を奨励し、取得促進を図っている。

5 健康確保

定期健康診断の一次検査費用の補助を行っている。

実績

1 労働者1人当たりの年平均時間外・休日労働時間

平成28年：51時間30分

平成29年：53時間

2 年次有給休暇の取得率

平成28年：77%

平成30年10月分まで：81%

平成29年：71%



（報道機関の取材を受ける横山工場長）

（報道機関の取材を受ける代田局長）